

講義コード		科目区分	基礎教育科目
(フリガナ)	ソウゴウニンゲンガク II	(フリガナ)	セオ タカシ
授業科目名	総合人間学II	担当教員名	瀬尾 尚史
英文授業科目名	Anthropology II		
基準年次(開講期)	1年(後期) *3・4年生は履修不可	履修形態	選択
曜日/時限/講義室	金2限/浅草		
授業の方法	講義	授業の方法 (詳細情報)	講義
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	日本映画、黒澤明		
授業概要・目的	この授業では、黒澤明の映画作品を通じて、人間のさまざまなあり方を考えるとともに、映画を総合的に理解するための多様なアプローチを理解していく。それを通して、次の二点を習得することを目的としている。①映画作品で描かれているさまざまな人生モデルに接することで、各自のライフデザインの手がかりを得る。②授業で鑑賞をした映画作品についてのレポート作成を通じて、芸術作品の素晴らしさを説得力のある言葉で表現できるようになる。		
到達度評価の評価項目	映画を形作っている様々な技法(モンタージュ、カメラワーク、照明など)を理解している。 実際の映画の場面に基づいて、自らの言葉で映画作品を分析し、その特長を他人に伝えることができる。		
授業計画			
第1回	イントロダクション 授業の進め方と、黒澤明について。		
第2回	『羅生門』を観る① 黒澤明の初期の代表作を鑑賞する。		
第3回	『羅生門』を観る② 黒澤明の初期の代表作を鑑賞し、レポートを作成する。		
第4回	『生きる』を観る① 黒澤明の現代劇の代表作である傑作を鑑賞する。		
第5回	『生きる』を観る② 黒澤明の現代劇の代表作である傑作を鑑賞し、レポートを作成する。		
第6回	『生きる』を観る③ 黒澤明の現代劇の代表作である傑作を鑑賞し、そのヒューマンズムを理解する。		
第7回	『七人の侍』を観る① 黒澤明の時代劇の代表作である傑作を鑑賞する。		
第8回	『七人の侍』を観る② 黒澤明の時代劇の代表作である傑作を鑑賞し、レポートを作成する。		
第9回	『七人の侍』を観る③ 黒澤明の時代劇の代表作である傑作を鑑賞し、その映画作法を理解する。		
第10回	『用心棒』を観る① 黒澤明の娯楽映画の金字塔を鑑賞する。		
第11回	『用心棒』を観る② 黒澤明の娯楽映画の金字塔を鑑賞し、レポートを作成する。		
第12回	『乱』を観る① 黒澤明のライフワークとされる超大作を鑑賞する。		
第13回	『乱』を観る② 黒澤明のライフワークとされる超大作を鑑賞し、レポートを作成する。		
第14回	『乱』を観る③ 黒澤明のライフワークとされる超大作を鑑賞し、そのペシミズムを理解する。		
第15回	まとめ 黒澤映画の魅力と、そのダイナミズムについて。		
教科書・参考書等	都築政昭『黒澤明の映画入門』(ポプラ新書)		
授業で使用する機器等	毎回、映画作品を鑑賞する。		
予習・復習へのアドバイス	授業で取り上げた映画作品について調べておく。		
履修上の注意・受講条件等			
成績評価の基準等	レポート課題(80%)と授業に取り組む姿勢(20%)によって評価をする。		
メッセージ	言うまでもないことですが、授業中の私語、スマホの使用、遅刻は厳禁です。		
オフィスアワー	質問等は、授業の後に対応します。		
その他			